

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米国関係  
（議員等発言(2)（講演、記者会見等）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840</a>

モス上院議員、マツナガ下院議員内話 (昭四四・三・六)

シカゴ 万  
ビ 電 符

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外務省  
次次房  
巨官特務長  
傍聴会常務  
人権學部  
参調析  
参領旅移  
ア 参北東 参中西 参北北保 参一二 参西東洋 参西東  
近ア 参参近ア 次参経國 参政技二 参政経一 参政経二 参政経三 参政経四 参政経五 参政経六 参政経七 参政経八 参政経九 参政経十 参政経十一 参政経十二 参政経十三 参政経十四 参政経十五 参政経十六 参政経十七 参政経十八 参政経十九 参政経二十 参政経二十一 参政経二十二 参政経二十三 参政経二十四 参政経二十五 参政経二十六 参政経二十七 参政経二十八 参政経二十九 参政経三十 参政経三十一 参政経三十二 参政経三十三 参政経三十四 参政経三十五 参政経三十六 参政経三十七 参政経三十八 参政経三十九 参政経四十 参政経四十一 参政経四十二 参政経四十三 参政経四十四 参政経四十五 参政経四十六 参政経四十七 参政経四十八 参政経四十九 参政経五十 参政経五十一 参政経五十二 参政経五十三 参政経五十四 参政経五十五 参政経五十六 参政経五十七 参政経五十八 参政経五十九 参政経六十 参政経六十一 参政経六十二 参政経六十三 参政経六十四 参政経六十五 参政経六十六 参政経六十七 参政経六十八 参政経六十九 参政経七十 参政経七十一 参政経七十二 参政経七十三 参政経七十四 参政経七十五 参政経七十六 参政経七十七 参政経七十八 参政経七十九 参政経八十 参政経八十一 参政経八十二 参政経八十三 参政経八十四 参政経八十五 参政経八十六 参政経八十七 参政経八十八 参政経八十九 参政経九十 参政経九十一 参政経九十二 参政経九十三 参政経九十四 参政経九十五 参政経九十六 参政経九十七 参政経九十八 参政経九十九 参政経百

送番号(TA) 9198 主管  
69年3月6日 23時00分 ワシントン 発 米北  
69年3月7日 13時10分 本省 着 米北

外務大臣 閣下 田(大) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん問題等(内話)

第660号 極秘 至急

往電第627号に関し、  
6日下記米國議員が木内に内話する所次のとおり。  
1. マス上院議員(民主、ユタ)  
訪日する度に(今次4回目)日本の発展ぶりに強くインプレッスされる。オキナワ問題のメドを見つけなければならぬことでは今次訪日米議員団の気持は一ちしている。  
基地の懸念は困難な問題だ。自分は2回オキナワを訪問し、上空からも同基地の威容をみた。ヴィエトナム戦継続中はB-52の基地として有効に働いており、また核も必要と思われる。しかし、これらの基地はやたらにひろがりすぎているのが実感で、縮小しなければいけないと感じている。もつともカデナ空軍基地等若干は保持しなければならぬであろう。オキナワ問題と米議会特に上院全般との関係はばく然たるもので確たる認識らしいものは未だないが、一方では保守的な軍事委員会の意見があるものの、他方では海外基地を整理、統合しなければならぬとの

外務省

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

空気も強い。したがって基地の懸念をどのようにするというよりも、経費節減の観点から、各地の基地を必要最少限度にとどめるべきだとの要請のかく度からしてこそ議会としては動きやすいと思う。懸念、性格の面よりも量的な側面の方が取り組みやすいかも知れない。しかしかようにして縮小された基地をどうするかとなると、これまた経費節減の観点からたとえばグアム島にうつすというようなことはとうていできないであろう。  
技術の進歩により核兵器を置く必要がなくなつたかどうかというようなソフィステイケートな議論には議会としてはなじみにくいと思われる。  
オキナワ問題について行政府との関係であるが、自分等議員団一行と新政権との考えにそう開きがあるとは思わない。  
新政権とジョンソン前政権との間に今後そう政策上の変化がおきるとも思わない。議員団の気持はいずれニクソン大統領にも授けいされる。自分は民主党だからニクソンに報告するのは第一格的にはスコット上院議員(注; 目下面接中)の任務と考えるが、自分としても日米関係には多大な関心を有しているの、大いに寄与したい。  
2. スパーク・マツナガ下院議員(民主、ハワイ)

-2-

外務省

極秘

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

今回接した日本本土の国民の関心はオキナワというよりも、往たく、税金、物価、学費競争で米国内と同じだと思つた。オキナワで目のいるを委ねているのは、政党とマスコミだけであるというのが日本でのわれわれの率直な印象であつた。

しかし、オキナワを返かんすべきであるとの一行の認識には訂正可能なものがあつた。基地の態様といつても難しく、米側に財政的負担ないしは多額の損失がかかるようでは解決はますます困難になると思う。

米国議会のオキナワ問題に対する認識はうすく、時間をかけてけいごうする必要がある。また、たとえば72年3月までに返かんするとのメドをつけることには賛成だが、日本側が余りせつづいていくとの印象を与えることは得策でない。ウイエトナム戦争が続いているということは米国民にとって厳しい事実であり、滞日中三回テレビに出たときも日本のちよう取者ににんたいがかん要なる旨訴えた

(3)

-3-